

第二十二回

全国藩校サミット

朝倉大会

人づくりは国づくり
治世安民のための藩政改革



令和7年11月1日 土

入場無料
定員1000人

ピーポート甘木

福岡県朝倉市甘木 198-1

開演 10:00 (17:30 終了予定)

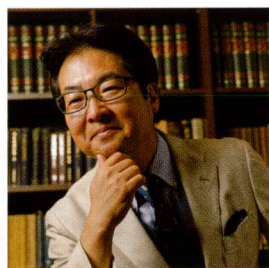
10:00 藩校活動報告(中ホール)

13:00 藩校サミット本大会(大ホール)

主なプログラム

※変更の可能性があります。

- ・オープニングアクト
- ・記念講演
- ・旧藩主座談会
- ・旧藩主紹介



記念講演講師
河合 敦氏

歴史作家。多摩大学客員教授。
高校教師の経験を活かし、日本
史をわかりやすく解説。講演・
執筆をはじめ、日本テレビ「世
界一受けたい授業」、NHK「歴
史探偵」等テレビ出演多数。

令和7年11月2日 日 エクスカーション

光月流太鼓、林流抱え大筒の演武や朝倉市秋月博物館がある秋月城下町を巡るコース等を予定しています。
詳しくは、裏面の2次元コードでご確認ください。

主催 / 第22回全国藩校サミット朝倉大会実行委員会、一般社団法人漢字文化振興協会

後援 / 福岡県、福岡県教育委員会、NHK 福岡放送局、FBS 福岡放送、TNC テレビ西日本、RKB 毎日放送、KBC、テレQ、
西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社

朝倉大会会長挨拶



秋月藩第15代当主
黒田 長幹

我が秋月藩は福岡藩から分知され成立。黒田長舒の代には、父秋月種茂（高鍋藩）・叔父上杉鷹山（米沢藩）に倣い「治世安民」の藩政改革を実践、藩校稽古館では身分を問わずその才能を伸ばす方針の下、独自の教育が行われました。その教えは脈々と秋月の子ども達に受け継がれています。朝倉大会では、「人づくりは国づくり」をテーマに稽古館の教育について一緒に考えていきたいと思っています。

朝倉大会実行委員長挨拶



朝倉市長
林 裕二

朝倉市は、邪馬台国の候補地であり、斉明天皇が朝倉宮を置いたように歴史深く、稔り豊かな地域です。福岡藩の支藩である秋月藩が置かれたのも、その重要性がためと自負しています。今回の朝倉大会では、中興の名君である秋月藩主黒田長舒公に着目し、宮崎県の高鍋藩や山形県の米沢藩との深い関係も紹介していきます。朝倉の魅力の奥深さを皆様に感じていただければ幸いです。

～ 全国藩校サミットとは ～

全国藩校サミットは、江戸時代に各藩が人材育成を目指して設置した学校(藩校)における教育を再評価し、現代における教育のあり方を考えていこうという趣旨で、平成14年から開催されてきた事業です。22回目を迎える朝倉大会では、秋月藩校「稽古館」での人材育成に尽力した8代藩主黒田長舒にスポットをあて、父である高鍋藩主秋月種茂(宮崎県)、叔父の米沢藩主上杉鷹山(山形県)との交流からみえる「人づくりは国づくり」をテーマに開催します。

～ 稽古館 ～

名君と言われた秋月種茂と上杉鷹山を父と叔父に持つ8代藩主黒田長舒は、藩校「稽古館」を整備充実するために、「稽古館文武公令」を発し、「学問の儀は治世安民の要道にして人道の根本」としました。人づくりは国づくり、学問は治世安民のためにあるもので、藩校教育を振興することにより、人材を育成し、殖産興業、福祉・医療の充実、社会資本の整備などの藩政改革を進めました。これにより、藩医緒方春朔による日本初の種痘成功や、のちに渋沢栄一にも影響を与えたと言われる『論語語由』の発行につながりました。

藩校「稽古館」の教育理念は、「稽古館の教え」として現代の学校教育に受け継がれています。

全国藩校サミット
11月1日(土)
最新情報はwebを
ご覧ください。



エクスカーション
11月2日(日)
最新情報はwebを
ご覧ください。



▲ 林流抱え大筒



▲ 光月流太鼓

アクセス

福岡空港から

車	45分
電車	1時間45分
高速バス	40分
甘木IC	25分

博多駅から

車	45分
電車	1時間30分

甘木鉄道甘木駅から

徒歩	10分
----	-----

全国藩校
サミット
会場

朝倉市
総合市民
センター
(ピーポート)
甘木

朝倉市マップ

